

令和5年度

新潟市立学校園授業改革パイロット校園事業 実践例

目指す資質・能力を育成する保育・授業の質的な向上

総合的な学習の時間を中心とした、社会参画力を育むカリキュラムの開発

新潟市立中之口東小学校 校長 林 なおみ

1 実践の報告

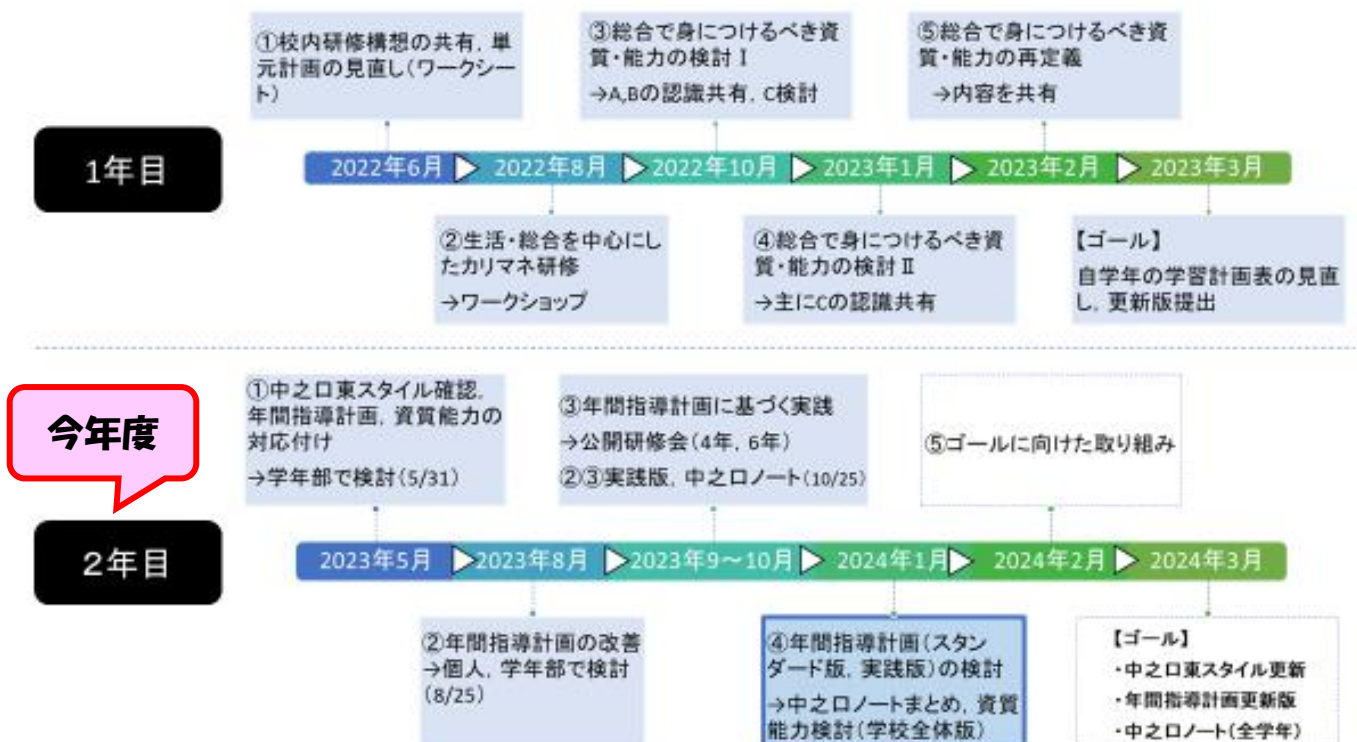
実践①カリキュラム・マネジメント研修

昨年度から、総合的な学習の時間（以下「総合学習」）と生活科を軸とした教科横断的なカリキュラム作りを目指して、総合学習に関する課題を洗い出し、年間指導計画の見直しを行ってきた。

当校の総合学習の課題

- ・育てたい資質・能力が不明確
- ・活動ありきの指導計画
- ・担任数が少ないため、異動があると活動や指導内容が引き継がれない。

カリキュラム・マネジメント研修は、新潟大学創生学部 准教授の澤邊潤先生に指導をいただきながら行った。



研修1回目（5月31日）

- 前年度までの成果の確認・共有
 - ・自校化した資質・能力表（中之ロ東スタイル）を全職員で共有した。
- 今年度のゴールの確認



研修2回目（8月25日）

- 年間指導計画のスタンダード版と実践版の
提案・作成
- ・持続可能な年間指導計画を目指して、基本的な活動を明記した「スタンダード版」と実際に活動した内容を記録した「実践版」を提案した。
- 今後の活動の計画

研修3回目（10月25日）

- 総合学習のまとめ「中之ロノート」の共通理解
 - ・今年度は、150周年記念誌として発行するため、全校で内容・形式をある程度そろえた。
- 実践記録の蓄積方法の共有
 - ・共有フォルダ、ロイロノート資料箱を活用して、データを蓄積する場所を統一した。
- 実践版の更新
- 今後の活動の計画



研修4回目（1月10日）

- 育てたい資質・能力の単元配列表への反映
- 実践版の更新

カリキュラム・マネジメント研修による今年度の成果物

(1) 総合的な学習の時間 資質・能力表 中之口東スタイル

総合学習の資質・能力 中之口東スタイル			
資質・能力	中之口東小スタイル	説明	備考
知識 技能	A① 題材に関する知識・技能	・単元で取り扱う題材（探究課題）に関すること	・ゲストティーチャーの講話も含む
	A② 他教科と関連する知識・技能	・当該学年で他教科との関連で並行して取り扱う内容、他教科との横断的な学習に関すること	・他教科等の単元名を記載する
	A③ 既習の知識・技能	・前年度までに学習した内容を基にした学習に関すること	・発達段階を意識する
思考力 判断力 表現力	B① 課題の設定	・単元に関する問いを実社会や実生活から見出し、課題設定すること	・発達段階に応じて課題設定までの指導を調整する（教師主導、子ども主導）
	B② 情報の収集	・設定した課題に関する情報を収集すること（調べ学習、インタビュー、アンケート、観察など）	・情報にはテキスト情報、音声記録、写真、動画などが含まれる
	B③ 整理・分析	・収集した情報を整理・分析すること（図表のまとめ、活動プロセスを整理するなど）	・「写真や動画を時系列で整理する」、「情報をもとに振り返る」ことも含まれる
	B④ まとめ・表現	・課題に応じて情報収集・分析した結果をまとめて発信すること（発表会、コラボ実践、中之口ノート、情報発信、報告書など）	・学習成果の「見える化」を意識する ・次年度以降の参考資料となるようにする
学びに向かう力 人間性	C① 主体性	・子ども自身の興味関心に基づいて、自らの意思で思考、行動しようとする	
	C② 協働性	・「ねらい」をもって他者（友達、協力者）と協力して学習しようとする ・試行錯誤しながら、他者（友達、協力者）と協働して課題解決しようとする	
	C③ 社会参画	・地域に生きる一人の人間として、地域のために行動しようとする ・地域のために役に立ちたいという思いをもつ	・将来への展望も含む
	C④ 地域への愛着	・地域の魅力を（再）認識し、地域のよさを大切にしたいと思う ・学習の成果を地域や地域の外に発信しようとする	・「地域」は中之口が基本だが、探究課題によっては西蒲区、新潟市…と広がることもある

(2) 総合的な学習の時間 年間指導計画 スタンダード版・実践版

【スタンダード版】

総合的な学習の時間 年間指導計画（中之口東小学校）スタンダード版

5年

月	単元名	単元の目標	学習活動	育成を目指す資質・能力	他教科等との関連
4月	大好きにいがた体験		(1) 田の仕事や米について知っていることや疑問に思うことを出し合う。 (2) 田植えをするまでの苗の成長について学ぶ。	【課題の設定】B① 【情報の収集】B② 【他教科と関連する知識・技能】A②	【社】米づくりのさかひ
5月	おいしさいっぱい 中之口 の米と大豆	・中之口の地域特性を調べ、米と大豆の栽培への疑問・質問を整理する。	(3) 田植えをする。 (4) 大豆をまく、苗を植えかえる。	【他教科と関連する知識・技能】A② 【協働性】C②	
6月		・田植えや稲刈りを体験し、米を栽培することの苦労や工夫に気づき、まとめる。	(5) 稲や大豆の観察を行う。	【情報の収集】B② 【協働性】C②	
7月		・米や大豆の加工品について協働で調べ、互いに報告する。	(6) 米栽培をしている他校とZoomを使って、米の栽培方法や管理の仕方について交流する。	【情報の収集】B②	
8月			(7) 稲刈りをする。 (8) 枝豆の収穫をする。	【他教科と関連する知識・技能】A② 【協働性】C②	【理】米や種子のでき方
9月	バートン		(9) 米や大豆について調べたことや自分の考えをまとめて発表する。	【整理・まとめ】B④	
10月	やしく食べよう！ 中之口の米と大豆から考えよう		(10) 収穫した米や大豆をどう使うか話し合う。	【課題の設定】B① 【主体性】C①	
11月	中之口の米と大豆から考えよう	・収穫した米や大豆の活用方法を提案する。	(11) 大豆の収穫をする。 (12) 米を炊いて試食する。	【協働性】C② 【他教科と関連する知識・技能】A②	【家】食べて元気！ご飯とみそ汁
12月			(13) 大豆を使った活動をする。 校外に大豆の加工品の試食を依頼する。(Zoom)	【情報の収集】B②	
1月	伝えよう！ 中之口の米と大豆	・中之口とそれ以外の地域を比較して、中之口の魅力を理解する。 ・1年間の学習を振り返り、相手を感動した学習の成果を報告する。	(14) 中之口の米や大豆を地域外に発信する。 学習したことを発表する。	【主体性】C① 【地域への愛着】C③	
2月			(15) 一年間の学習を振り返り、まとめる。	【まとめ・表現】B④	
3月					

スタンダード版の特徴

- ・活動内容がシンプルに書かれている。
- ・大まかな活動の流れが分かる。
- ・その年によって変更がありそうな活動相手や活動内容は明記しない。

(6) 米栽培をしている他校とZoomを使って、米の栽培方法や管理の仕方について交流する。

(7) 稲刈りをする。
(8) 枝豆の収穫をする。

(9) 米や大豆について調べたことや自分の考えをまとめて発表する。

(10) 収穫した米や大豆をどう使うか話し合う。

(11) 大豆の収穫をする。

(12) 米を炊いて試食する。

(13) 大豆を使った活動をする。
校外に大豆の加工品の試食を依頼する。(Zoom) 大豆を試食する。

【実践版】

実践版の特徴

- ・活動を実践した日にち、時数、場所、お世話になった人を記録する。
- ・活動したことで、児童の意識がどのように変化したのか、どのような学びがあったのか記録する。

月	単元名	単元の目標	学習活動	児童の意識・学び	意図を具した資質・能力	他教科等との関連
4月			(1) 田の仕事を和について知っていることや疑問に思うところを話し合う。 4月11日 1h 教室 【大好きにいがた体験】 (2) 田植えをするまでの道の成長について学ぶ。 4月18日 2h 山田寛さんのビニールハウス/山田寛さん	(1) 米について知っていることはある。自分の家でも持っている。中之口米をたくさん作っている。 【情報の収集】B② 【教材に関連する知識・技能】A④ 【社】米づくりのさかなん地帯		
5月			(3) 田植えをする。 田植え 5月10日 4h 学校給の田んぼ/JA大橋さん 振り返り 1h 教室 ※スマート農業見学 5月17日 2h 永塚さんの田んぼ/永塚さん	(3) (4) 作業を通して、作ることを実感する。生産者の苦労を知る。 【情報と関連する知識・技能】A② 【情報性】C②		
6月			(4) 大豆を育て、育てる方法を学ぶ。 種まき 5月28日 1h ふれあい家の庭/鏡さん 振り返り 1h 教室 稲刈り 6月9日 2h 農業体験公園/鏡さん	(3) (4) 作業を通して、作ることを実感する。生産者の苦労を知る。 【情報と関連する知識・技能】A② 【情報性】C②		
7月			(5) 稲や大豆の観察を行う。 稲の観察 遠征(2-3回)、夏休みの課題 大豆の観察 夏休みの課題	(5) 稲や大豆の観察を行う。稲の観察 遠征(2-3回)、夏休みの課題 大豆の観察 夏休みの課題		
8月			(6) 他校とZOOMを使って、米の栽培方法や管理の仕方について交流する。 交流(ZOOM) 7月14日 1h 教室/味方小5年生・地域コーディネーター 黒酢作り 7月18日 0.5h 家庭科室 黒酢散布 7月20日 1h 学校教育田/皆澤さん	(6) 他校とZOOMを使って、米の栽培方法や管理の仕方について交流する。 交流(ZOOM) 7月14日 1h 教室/味方小5年生・地域コーディネーター 黒酢作り 7月18日 0.5h 家庭科室 黒酢散布 7月20日 1h 学校教育田/皆澤さん		
9月			(7) 稲刈りをする。 稲刈り 9月14日 2h 学校教育田/JA大橋さん 振り返り 9月14日 1h	(7) 稲刈りをする。稲刈り 9月14日 2h 学校教育田/JA大橋さん 振り返り 9月14日 1h		
10月			(8) 枝豆の収穫をする。 今年中止。 (9) 米や大豆について調べたことや自分の考えをまとめて発表する。 米や大豆についてテーマを決め、調べ学習をした。6h(国語とカリマネ)例)加工品、種類、歴史、調理法、など (10) 収穫した米や大豆をどう使うか話し合う。 誰に味わってもらうか、どのように味わってもらうか 9月19日 1h ※新潟大学 お弁当開発プロジェクトの説明を聞く。 10月17日 1h/新潟大学創生学部 准教授 澤邊先生 米の紹介 練習 10月16日 1h ※味方小の5年生とZOOMで交流 10月20日 1h (黒酢のお礼、稲の収穫報告) 交流の練習 10月19日 1h	(8) 枝豆の収穫をする。今年中止。 (9) 米や大豆について調べたことや自分の考えをまとめて発表する。 米や大豆についてテーマを決め、調べ学習をした。6h(国語とカリマネ)例)加工品、種類、歴史、調理法、など (10) 収穫した米や大豆をどう使うか話し合う。 誰に味わってもらうか、どのように味わってもらうか 9月19日 1h ※新潟大学 お弁当開発プロジェクトの説明を聞く。 10月17日 1h/新潟大学創生学部 准教授 澤邊先生 米の紹介 練習 10月16日 1h ※味方小の5年生とZOOMで交流 10月20日 1h (黒酢のお礼、稲の収穫報告) 交流の練習 10月19日 1h		

(6) 他校とZOOMを使って、米の栽培方法や管理の仕方について交流する。
交流(ZOOM) 7月14日 1h 教室/味方小5年生・地域コーディネーター
黒酢作り 7月18日 0.5h 家庭科室
黒酢散布 7月20日 1h 学校教育田/皆澤さん

※黒酢作り 9月1日 0.5h 家庭科室
黒酢散布 9月4日 1h 学校教育田/皆澤さん

(7) 稲刈りをする。
稲刈り 9月14日 2h 学校教育田/JA大橋さん
振り返り 9月14日 1h

(8) 枝豆の収穫をする。
今年中止。

(9) 米や大豆について調べたことや自分の考えをまとめて発表する。
米や大豆についてテーマを決め、調べ学習をした。6h(国語とカリマネ)例)加工品、種類、歴史、調理法、など

(10) 収穫した米や大豆をどう使うか話し合う。
誰に味わってもらうか、どのように味わってもらうか 9月19日 1h

※新潟大学 お弁当開発プロジェクトの説明を聞く。
10月17日 1h/新潟大学創生学部 准教授 澤邊先生
米の紹介 練習 10月16日 1h

※味方小の5年生とZOOMで交流 10月20日 1h
(黒酢のお礼、稲の収穫報告)
交流の練習 10月19日 1h

(6) 「おいしい米を作りたい。」「安心して食べられる米を作りたい。」という思いをもつ。
「自分たちが米作りをしている。」という思いを高める。生産者意識が高まる。

(※) 米のために何かしたいな
安心・安全なお米作りのために、もう一度黒酢を作ってみようと思えるようになる。

(7) 「稲刈りを手作業でするのは、大変だ。」「しゃがみ続けて作業するのは、大変。」「昔の米作りの苦労を知る。」「コンパインで稲刈りをするとても速いしきれいに刈れている。でも、稲の粉が飛び散っていて、大変だ。」と現代の稲刈りでも苦労があることを知る。
「苦労して収穫した米」という生産者の意識が高まる。

(10) 米に愛称を付けることで、「自分たちの米」という意識が高まる。米を大切に使用したい・食べたいという思いが高まる。
愛称・キャラクター・動画を作ることで、中之口のよさを地域外の人たちに伝えようと思えるようになる。
・校外への提供について考えることで、生産者としての意識がさらに高まる。

(※) 味方小と交流し、収穫した米の量や使い方を教え合うことで、今後の動向が

(3) 中之口ノート



次年度の担当が、いつ、何の目的で、何をすることが分かり、活動の計画や見通しを立てることに役立つ。
更新しながら蓄積することで、同じ題材でもいろいろな活動の記録が残り、活動の幅が広がる。

持続可能な年間指導計画

実践②公開授業研修

総合的な学習の時間の公開授業を2回行った。指導者を招き、校外にも案内を出した。

【9月27日(水)】

6学年 『中之口再発見!~中之口PR動画をつくろう~』 授業者 池田明菜 教諭
指導者 新潟市立新潟小学校 小川雅裕 教諭

本時のねらい

PR動画で取り上げる中之口の魅力について、グループで話し合い、仲間と意見を交流したり、情報を提示したりして、中之口ならではの魅力を絞り込む活動を通して、中之口の魅力に対する自己の考えを再構築することができる。

授業の概要

中之口出身の人々に中之口の良さを再認識してもらおうとPR動画を作成することにした6年生。前時までにそれぞれが思う中之口の魅力を出し合った。本時は、ピラミッドチャートを使って、出された魅力の中からPR動画で扱うテーマを4つに絞る話し合いを行った。



授業後の協議会では、指導者の小川先生から授業に関する御指導をいただいたり、総合的な学習のカリキュラム開発についての実践例やアドバイスをいただいたりした。



後日、6年生の児童は、PR動画作りの計画の立て方や撮影のコツについて内山渉先生から教えていただいた。専門家から話を聞き、児童の意欲も高まった。



【10月18日(水)】

4学年 『川を守る・自然を守る～わたしたちができること～』 授業者 荒木嵩也 教諭

指導者 新潟大学附属新潟小学校

梅津祐介 教諭

本時のねらい

中ノロ川のカッパ伝説に込められた思いを探ることを通して、地域の昔の人たちの川とのつながりの強さに気付くことができる。

授業の概要

中之口に言い伝えられている河童伝説を地域の方から聞いた4年生。他の地域にも河童伝説はあるけど、中之口の河童伝説とは少し違うものもあることを知った。本時は、中ノロ川が昔の人々にとってどんな存在だったのかを確認しながら、河童伝説に込められた思いについて考えた。



授業後の協議会では、梅津先生から、総合的な学習の時間の単元構成で気を付けること、探究を続ける上で教師が大切にしなければいけないこと等をご講話いただいた。



妖怪研究所の高橋郁丸先生をお招きし、他の地域の河童伝説をお話していただいた。同じ河童に関する伝説でも、地域によって、内容が少しずつ違うことを知った。また、妖怪を初めとする伝説は、語り継がなくては消えてしまうこと、伝え続けることが大切であるということも学んだ。児童は、自分たちの地域の伝説を受け継ぎ、伝えていきたいという意欲を高めた。

実践③中之ロノート

生活科と総合学習の時間の1年間の記録や学んだことを学年ごとにまとめ、中ノロノートとして1冊に集約した。(下記は、各学年の中之ロノートより1ページずつ抜粋したもの)

★たねをとろう



あさがおの花がさいたあとに、おうどいろのみができました。みのなかには、小さなたねが入っていました。たねは、ぜんぶで100こちかくとれました。



みのかたちは、にんにくみたいでした。みの中を見ました。きれいでした。みの中にくろいたねが入っていました。

<かんそう>
たねがいっぱいいとれてうれしかったです。らいねもそだてたいです。

1年生

『生きものなかよしだいさくせん』

～なかにわへん～



- みどりの草むら
- 落ち葉にいるバッタは茶色になる
- 山
- 岩がたくさんある場所でひなたぼっこをしている

よくいるところ
太陽の光がよく当たる
ところ
おちばの下
あたたかくなると出てくる



そだてることはできなかったけど、カナヘビとバッタがどこにいるかや、いつ出て来るかが、よくわかりました。つぎはかってみたいですよ。

2年生

4月の桃畑 (花粉つけ)

ももの花に、花粉づけをします。そうすると、ももの実ができます。山田さんから中ノ口のももは江戸時代(200年～300年前)から育てていると聞きました。

品種によって、自然と実が付くのと、花粉を付けないと育たないももがあることが分かりました。

3年生

川は危ない!

おぼれる人がたくさんいて危険な場所。大河津分水路ができるまでは、洪水も多かった。

けれども.....川は大事!

昔の人は、川が生活の一部だった。川がないと、洗濯ができななし、お風呂にも入れない。子ども達の遊び場も川。

そのため、**「カッパがいるから気をつけなさい」**と、川と関わる子どもたちに注意したということだった!





川は濡れたり、洪水が起きたりして危険だけど生活の中のいろんなところで必要なことが分りました。また、カッパは悪さをすると、葉をくれるなど、いいところもあって川と似ていると思いました。だから、子ども達に身の回りの注意をカッパとつけて話をしたんだと思いました。

4年生

ツナゲアイプロジェクト (にいがた弁当)


10月17日 新潟大学の学生さんから「ツナゲアイプロジェクトの『にいがた弁当』に使うお米を提供してほしい。」という依頼を受けました。ツナゲアイプロジェクトは、人と人をつないで交流の場をつくるプロジェクトです。学生さんから、「なぜお弁当なのか」を説明してもらい、私たちのお米に込めた思いも聞いてもらいました!



「食は、年齢関係なくみんなの共通の話題になるから、食の豊かさを表現できるお弁当にした。」と言っていました!

私たちが育てたお米『ゴールドスマイル』が美味しいお弁当(ライスロケット)になって嬉しかった!

最初はお米がライスロケットになると聞いて、「なんでライスロケットなんだろう?」と思ってたけど、シェフの鈴木さんが、「ライスロケットは冷めても美味しい。」と言っていたのでライスロケットにした理由がよく分かりました。食はみんなの共通の話題になること、食の豊かさを表現できるということを初めて知りました。私もお弁当を食べました。食べてみるととてもおいしかったです。私たちが安心・安全に気をつけたお米が、美味しいお弁当になって、たくさんの人に食べてもらえて嬉しかったです。



5年生

絵コンテを作ろう!

～内山先生にコツを聞こう!～
私たちは、中ノ口PR動画作成のために絵コンテを作りました。

私たちが絵コンテを作るのは、2回目でした。1回目は佐渡のPR動画でした。佐渡の時は自分たちだけで作りましたが、今回の中ノ口PR動画は、動画のプロ「内山先生」から、動画の構成のコツやどう表現したらいいかなどを教えてくださいました。

中ノ口は、いいところがたくさんあるなと思いました。中ノ口は夏がたっぷりだと改めて気が付きました。

内山先生からアドバイスをもらって、やっぱりプロの方に見てもらくと、とても思いが伝わりやすくなるなと感じました。

絵コンテの構成を考えるのは、すごく難しいと思いました。でも動画を作るための絵コンテなので、すごく頑張って作りました。

みんなが自分たちの伝えたい魅力がどうしたら伝わるのか、どのように工夫したらいいのかわかりました。各グループで絵コンテが大体できたら、違うグループ同士でアドバイスを伝え合って、完璧な絵コンテを作りました。



6年生

2 実践の成果と課題

【成果】

- ・カリキュラム・マネジメント研修を行ったことで、教科横断的に学習を進めることを意識しながら計画を立てることができた。
- ・年間指導計画を見直したことで、地域素材を使った学習計画を立てることができ、本物体験や専門的な話を聞くことができた。児童に豊かな学びの場を用意することができた。
- ・年間指導計画のスタンダード版と実践版を作成したことで、持続可能な計画となることが期待できる。また、中之ロノートに学習の記録と学びの内容をまとめたことで、次年度の活動イメージがもちやすくなった。

【課題】

- ・持続可能な年間指導計画を続けていくために、計画的にカリキュラム・マネジメント研修を継続し、スタンダード版の見直しをしながら、実践版を更新していく必要がある。